

みんなで知ろう!みんなで語ろう! 一人ひとりが何かを考えるきっかけとして。

あなたの職場、学校、地域でセミナーを開催します!

私たちの経験や知識をセミナーを通してお伝えします。

「依存症を知る」ことは、当事者や援助職者に限ったことではありません。早期発見・早期対処が依存症対策の鍵とは言うものの、その兆候を見逃してしまったり、いざという時に相談先が分からなかったり、スティグマ(負の烙印)、恥、差別が回復への歩を阻む壁になったり…。

依存症問題の解決には、一人ひとりが「依存症を知る」ことが重要で、それは他の社会的問題と何ら変わりはありません。

平素より、依存症に苦しむ方、またそのご家族を対象にした「依存症を知るセミナー」の開催を全国各地で継続してきましたワンネスグループでは、企業、学校、地域向けに、出張版の「依存症を知るセミナー」を行っており、昨年各地の皆さまからご依頼をいただきました。

依存症の基礎的理解から、その背景、早期発見や早期対処の鍵、そして予防、さらには依存症問題解決に一人ひとりができることは何か、など。

若手スタッフからベテランスタッフまで、理解促進、相談、回復支援施設、社会復帰など様々な事業を手がける、ワンネスグループだからこそお話できることがあります。

本年も早々に企業や自治体でのセミナー・講演会のリクエストをすでに頂いております。

依存症についての理解を深め、知識を得るきっかけとして、知識を得るだけでなく、「私たちは何をやっていくべきなのか?」と考えるきっかけとして、「依存症を知るセミナー」を、学校や企業でご活用いただければと思っています。開催をご検討の皆さま、ぜひ一度ご相談ください。

【企業、学校、地域セミナーへのお問合せ】
ワンネスグループ奈良オフィス
TEL:0745-24-7766
メール:info@oneness-g.com

ワンネスグループホームページからもお問い合わせ可能です。
<http://oneness-g.com/management.html>



企業では、大切な社員やスタッフを依存症から守るため、また依存症が原因と思われる業務上のトラブルから企業全体を守るためにと、年々、お声がけが増えています。



ワンネスグループ共同代表の三宅やほかスタッフがおじゃまします。依存症が特別なものではなく、誰でもなりうるものであることを知り、自分のこととして考えます。

~ONENESS GROUPにご支援を~

平素はワンネスグループの活動に、ご理解、ご協力をいただきありがとうございます。皆さまの温かなご支援は、私たちの活動の励みです。今後ともよろしくお願いたします。

【献金して下さった方(五十音順)】
青木みどり様 / 東安子様 / 石橋和幸様 / 福岡照代様 / 稲村則子様 / 栄林ヒサ子様 / 大橋登喜子様 / 粕谷ひとみ様 / カトリック御所教会様 / 社会福祉士事務所・たかしまや便利堂 高嶋康伸様 / 高木篤司様 / 高嶋弘子様 / 田口大輔様 / 友寄正子様 / 奈良総合法律事務所 内橋裕和様 / 奈良総合法律事務所 荒木秀夫様 / 奈良総合法律事務所 倉橋毅士様 / 奈良総合法律事務所 東穂忠幸様 / なら法律事務所 朝守令彦様 / 橋本宏様 / ひあクリニック 三好裕子様 / フク様 / 松本亜矢子様 / 村西黄宝様 / 森美紀様 / 山崎鶴子様 / 横田誠様 / ワイルドサイド20 (株) 日出席治様 ...その他匿名の方

【献品して下さった方(五十音順)】
安齋幸江様 / 隔なたたぼっこ 久世陽子様 / 福岡美恵子様 / 矢野様 / T O C建設株式会社様 ...その他匿名の方 (2017年12月31日まで掲載)

Local Activity in奈良

依存症セミナーを開催

1月13日、奈良市を中心に「無料で悪病聞きます」という看板を掲げ、街ゆく人たちの悪病を聞く活動をのべ300回以上開催している「guchi bank」主催の岡田浩徳さんをゲストスピーカーに迎え、「依存に陥らないための街づくり~私たちにできること~」をテーマにセミナーを開催いたしました。奈良県内では今年も年4回のセミナーを予定しております。依存症になってからの回復支援のみならず、依存症にならないために私たちが出来ることについても地元の皆様にお伝えしていきたいと考えています。地元の大和高田市、橿原市で無料相談もできるセミナーを開催していきますので、お気軽にお越しください。

★献金はこちらへお願いいたします★
ゆうちょ銀行 店名)四五八 店番)458 普通口座)0387467 口座名)ワンネスグループ依存症関連問題基金

【編集人】
Healing Garden Care Center 代表:伊藤宏基
〒635-0065 奈良県大和高田市東中2-10-18
TEL0745-22-0207 e-mail:info@garden-ag.org

【発行人】
関西障害者定期刊行物協会
〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4階
定価:100円

【すべてのお問合せ】

イベント情報 TEL:0745-24-7766(ワンネスグループ本部) / <http://oneness-g.com>

ワンネスグループでは全国各地で依存症に関するイベントを行っています。詳しくは各イベントのチラシ、またはワンネスグループのホームページをご覧ください。スタッフ一同お待ちしております! ぜひお近くの会場へお出かけください!

●個別相談を受けいたします(該当会場のみ/組数限定) 詳しくはTEL0120-111-351まで

★大阪オフィス キックオフセミナー★

【大阪・大阪市】3月4日(日)14:00~16:00
ATCホール コンベンションルーム2
(大阪市住之江区南港北2-1-10 ATC・O's棟6階)

★ギャンブル依存症連続セミナー★

【神奈川・横浜市】
2月19日(月)、4月16日(月)18:45~20:30
かながわ労働プラザ(エルプラザ)第9会議室
(横浜市中区寿町1-4)

★依存症を知るセミナー★

□関東地区
【東京・千代田区】3月26日(月)18:45~20:30
アクセア貸会議室 半蔵門 第4会議室
(千代田区隼町2-13 US半蔵門ビル6F)

□東海地区

【愛知・名古屋市】2月23日(金)、3月23日(金)
セミナー 18:30~20:00 / 相談会20:00~21:00
ウィルあいちセミナールーム5
(名古屋市東区上笠町1)

メディアで紹介されました! ワンネスグループの活動が、新聞やテレビなどで紹介されました。グループのホームページでは記事をご覧ください。 <http://oneness-g.com>

新聞・雑誌

10月28日 毎日新聞 / 横浜オフィス開設について
11月 3日 北海道新聞 / 依存症を知るセミナー北海道キャラバン旭川
11月14日 あさひかわ新聞 / 依存症を知るセミナー北海道キャラバンレポート
11月26日 毎日新聞 / 依存症を知るセミナー盛岡
12月 4日 福島民友新聞社 / 依存症を知るセミナー郡山
12月22日、24日、25日、29日 産経新聞 / ~依存~薬物 出口のない闇

テレビ

10月 6日 読売テレビ / ドキュメント2017「キャンブル依存~行き着く先は刑務所か、墓場か」
11月17日・23日 RKB毎日放送 / 今日感テレビ「琉球天道組 ダンスコンテスト出場までの道のり」
12月12日 読売テレビ / かんざい情報ネット10 キャンブル依存症

ラジオ

毎週火曜9:40頃~FM沖縄「Fine!」リカバリーアライブ 依存症を生きる」

取材のお問合せ・お申込み
ワンネスグループ本部 TEL 0745-24-7766

KSKS GARDENの記録

~自分を好きになることから始めよう~

Oneness Mind

ワンネスマインド

vol.18

ワンネスグループ 検索



薬物、ギャンブル、アルコール依存症回復のエキスパート
ONENESS GROUP
ワンネスグループ

依存症でお困りなら
ご相談ください。

依存症相談受付(受付時間/月~金曜10:00~17:00)
0120-111-351

依存症SOS相談メール:sos@oneness-g.com



LINE公式アカウント開設!!
ID@[oneness-g]で検索を!
私たちとつながりましょう!!

2018年も私たちにできることを、最大限のパワーで!

ニュースレターをご覧の皆さま、新年おめでとうございます。奈良は寒さが一段と厳しくなる一方、沖縄は春どころか初夏を思わせるような陽差しが注ぐ日もあります。皆さまのお住まいの地域はいかがでしょうか。くれぐれも健康に留意されてお過ごしください。

旧年中はワンネスグループの活動にご支援ご指導頂き、ありがとうございました。創始者の矢澤祐史より代表職を引き継いだ、伊藤、三宅の両名がグループを率い、オーバー・ヘイム副代表と位田沖繩代表が脇を固めて走りきった2017年。「マイナス10からプラス10への回復」の言葉そのままに、新たなチャレンジへ、各拠点全スタッフが団結し努力を続けました。

●スタッフの絆が深まるなかで

具体的に昨年を振り返ると、年初にICCE(国際アディクション専門職認定教育センター)のリカバリーコーチ認定トレーニングからスタート。秋には各施設プログラムの柱のひとつであるRD(リカバリー・ダイナミクス)の講習、続いてIGCCB(国際問題ギャンブルカウンセラー認定委員会)の認定トレーニングなど、ワンネスグループの「(依存症を経験した)当事者性+専門性」という特徴をさらに磨き上げた一年となりました。

奈良ではワンネスの里農業でデイケアの立ち上げ。沖縄ではグループホームの開始、関西

京都村組協力のもと立ちあがったダンスチーム琉球天道組のダンス披露。名古屋では、通所型支援(日曜コース)のスタートに、初めてとなる名古屋ダルクとの合同フォーラム。また、拠点以外では横浜市内に問題ギャンブル対策センターを設置したほか、北海道では初となる依存症セミナーを7ヶ所で開催しました。これらの活動を通し、ワンネスグループの活動を理解して下さった自治体や学校、企業からの講演依頼が増え、相談ダイヤルや相談メールの件数増加に伴って、ご家族とともに依存症者本人へ動機付けを行うインタビューは全国各地に拡がりました。

また、ワンネスグループが応援した国際的なイベントとして、7月のカイル・メイナード氏、11月のピアノ・ハーさんをはじめ、困難を克服しチャレンジし続ける方たちの来日に心が熱くなった思い出は、いまだ鮮明なものとなっています。

●経験者だからこそ伝えたい

「本当に必要なこと」そして、いま。私たちは走り出した新しい年に、更なる熱い思いを込め、日々地道に活動を続けています。フラワーガーデン初のグループホーム開設によって、女性の支援がさらに充実するでしょう。問題ギャンブル対策センターは、大阪市の咲洲(ささしま)にもまもなく開設し、地域におけるギャンブル等依存症対策の拠点が

増えていきます。そして、これまで実施したことのない地域でのセミナー開催。通所型コースや家族会の充実。また、刑の一部執行猶予制度への対応をはじめとする「再犯防止」の取り組みも一層進めてまいります。

自らが依存症回復に努め、経験と専門知識を活かし、いま苦しんでいる本人や家族の手助けをしたいという思い。早期発見、対処、予防ができる社会づくりをしたい、という思い。これらの熱い思いは、依存症を経験したスタッフたちが「真に依存症問題解決に必要なことは何か」を考え、時にはぶつかり合いながらも話し合い、導き出した方向性でもあります。

この思いを、依存症経験のあるスタッフだけでなく、各拠点で雇用させて頂いている事務担当スタッフや現場スタッフとも共有し、さらには、私たちの活動に共感いただいている皆さまにもご協力いただき、社会のセーフティネットをつくる一員として活動を行ってまいります。

「いのち、決して無駄にしてはならない、大切な贈り物」。ワンネスグループの理念をいつも心に置き、この一年、スタッフそれぞれが一步ずつ成長を続けます。本年もご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

一般財団法人ワンネスグループ

共同代表 伊藤 宏基
共同代表 三宅 隆之

ONENESS GROUP
ワンネスグループ

ワンネスグループのエネルギーは、今、全国に広がっています。

一般社団法人 GARDEN (奈良) 薬物・アルコール・ギャンブルなどの依存症治療共同体
 一般社団法人 GARDEN (沖縄) 薬物・アルコール・ギャンブルなどの依存症治療共同体
 日本ファミリーインタベンションセンター (奈良・名古屋・沖縄・東京) 本人を助得し治療へ繋げるサポート 依存症家族のための相談窓口
 一般社団法人 セレニティパークジャパン(奈良) キャンブル・アルコールなどの依存症治療共同体
 一般社団法人 セレニティパークジャパン(名古屋) 薬物・アルコール・ギャンブルなどの依存症治療共同体
 一般社団法人 セレニティパークジャパン(沖縄) 薬物・アルコール・ギャンブルなどの依存症治療共同体
 Flower Garden フラワーガーデン(奈良) 女性専用の依存症や生きづらさなどの依存症治療共同体

子どもたちが生きる未来をもっと素敵にするために。 「FUTURE LEADERS DESIGN LAB」が新たな未来像を発信。

奴隷制度のもと苦しむ子どもたちを解放するために立ち上がった
ビビアン・ハーさんが、行動するための勇気と希望を伝えました。

ワンネスグループとして共感し、応援させていただいた「FUTURE LEADERS DESIGN LAB(フューチャー リーダース デザイン ラボ)」は、児童奴隷解放のために、レモネードを販売することで世界を変えた13歳の少女、ビビアン・ハーさんをアメリカよりお招きして、多彩なゲストと一緒に、子どもたちが生きる未来を考えたイベント。2017年11月に東京・大手町サンケイプラザで開かれ、たくさん子ども、大人たちに勇気と希望が与えられました。当日の様子をレポートします。

当時9歳だったビビアンさんが世界を変えようと動き出した小さな一歩が、SNSなどを通じて世界の大人を動かしたストーリーには、ビュアな信念と熱い勇気、またその思いを応援してくれた人たちのポジティブなエネルギーがあります。ご両親がどのような言葉がけをして、今のビビアンさんがあるのか、これからの日本の子どもたちのために、大人たちと共有したい。そして、小さいお子さんがいても、当たり前のように参加できるイベントにしたい。そんな思いを込めて「FUTURE LEADERS DESIGN LAB」は開催されました。

この思いに多彩なゲストの方々賛同してくださり、力を貸してくださいました。内閣総理大臣夫人の安倍昭恵さん、ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス株式会社取締役の島田由香さん、47都道府県の地方公務員と国家公務員をつなぐ活動「よんなな会」を主宰する脇雅昭さん(神奈川県課長)など、社会の変革をさまざまな手法で試みるリーダーが集結し、それぞれの思いを伝えてくださいました。またワンネスグループ創始者の矢澤祐史もオープニングトークやパネルディスカッションで登壇し、イベント

を盛り上げました。

そして、今回、注目されていたビビアンさんの基調講演では、「FIDS」=「FEEL(感じる)、IMAGINE(想像する)、DO(行動する)、SHARE(分かち合う)」というキーワードを基に、自身が起業するに至った経緯だけでなく、豊かな感性に基づく「FIDS」の経験を余すことなく私たちへシェアしてくださいました。ビビアンさんが世界を変えるために立ち上がったきっかけなどを直接聞くことができる、とても貴重な機会となりました。

今、行動している方の話を聞かれた参加者の皆さんには「私は何を変えたい?」「私が感じたものをどうしたら実現できる?」「まず今日の私ができることから始めてみよう」「そして、私の得たものを周囲に分かち合っていこう」などの思いが芽生えた様子。イベントが進むにつれ、皆さんの目に力が宿るのを感じることができました。大人たちが学び、何か行動を始めることで、子どもたちが生きる未来をもっと素敵にできるはずという希望が会場に広がりました。ビビアンさんやご登壇いただいたゲストスピーカーの方々からのお話は、参加された方にとって今までにない、新しい価値観、考え方になったのではないかと思います。

当日は400名を超える方にお越しいただき、会場は満席、大盛況のうちに閉幕となりました。今、それだけ未来を大切に考え、何か行動したいと思っている方が増えていく表れではないかと思わされます。今回のイベントは高校生以下は無料、託児所スペースも設けられ、未就学児、お子様連れの方にも気軽に参加いただけるイベントとなり、若い彼らには、自分自身が生きる未来へのリアリティある刺激になったのではないのでしょうか。登壇者さま、ご協力いただいた関係者の方々、そして「FUTURE LEADERS DESIGN LAB」へ参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

★ワンネスグループスタッフの感想★

★ビビアンさんの「考えるより先に行動する」という言葉が印象に残っています。失敗したらどうしようと考えてしまい、なかなか行動に移せない自分に響き、行動する勇気ももらえました。自分が何をしたいかを考え、目標を決めて行動する事、自分がしたい事を色々な人にシェアすること、やれない事を考えずには行動に移す大切さを学びました。また登壇者の方のお話からは、自分が感じている事や思っている事を伝えないと、気持ち伝わらないと実感しました。今までは察してほしいと思っていましたが、自分から伝えられるようになりたいです。(奈良GARDEN 高内雄介)

★ビビアンさんと初めて対面した時、互いに言葉は交わすことなかったのですが、彼女の瞳を見つめると、自然に涙が溢れだしました。自由という羽、自由という開かれた扉を感じ、エンジェルのようでした。そんな彼女のメッセージを通して、私は自分に「やれない、できない」と声をかけ、行動する前に思考にstopをかけ、自身の世界を狭くしていたことを痛感しました。頭で何かを考えて考えて、結局何もせずに終わる1日を過ごすのはもったいない! 感じるままに、即行動。動く、やってみる、トライする! そして自分自身で体験して感じた事が、真の学びになるのですね。悔いのない自分らしい人生をスタートさせたいと思い、勇気と愛を受け取ったエネルギーいっぱいイベントでした。(フラワーガーデン 中條裕美)

★誰しも「こういったことをしてみたい!」「こうなれたなら…」と思うことがあるのではないのでしょうか? 今回のメインスピーカーであるビビアン・ハーさんは自分自身という存在に意味を見出し、今その意味を変化させている一人の人なのだと思います。依存症治療共同体ワンネスグループの目指す「マイナス10からプラス10への回復」もビビアンさんの体現する生き方と通じるものがあると感じました。(セレニティパークジャパン奈良 木村勇也)



子どもたちも多く参加し、自分たちが
つくりたい未来について思いを巡ら
す1日になったはず。子どもたちが希
望を持てる未来をクリエイティブする
は、ここにいる一人ひとりです。



ビビアンさんは、現在13歳。ステキな
レディに成長され、初来日しました。パ
ネルディスカッションの時には、安倍
昭恵さんに「どうすれば平和大臣に
なれる?」と質問する場面も。



ワンネスグループ創始者の矢澤祐
史がファシリテーターとなって、登壇者
の方々と意見を交わしました。



ビビアンさんの絵本、発売中!

ビビアンさんがレモネードで世界を変えたエ
ピソードを紹介した絵本「メイク・ア・スタンド
～立ち上がれ子どもたち～」が、Amazonで
数量限定で発売されています。かわいらしいイラ
ストの絵本で、ビビアンさんの思いをシェアし
てください。

詳しくはこちらから



こどもは地球の宝物、可能性は無量大。 「第1回世界こどもサミット2017in伊勢」に、 フラワーガーデンが参加しました。

昨年11月に三重県伊勢市で開催された「第1回世界こどもサミット」に、フラワーガーデンも参加しました。この世界こどもサミットは内閣総理大臣夫人の安倍昭恵さん、ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス株式会社取締役である島田由香さん、コミュニティ館 湊の主宰者、菅沼奏香さんをはじめとする実行委員によって企画され、ワンネスグループ創始者の矢澤も委員として参画していました。

「子どもたちの未来は子どもたちに決めてもらおう」と、彼らが自由に思いを発表し、その意見に大人たちが真剣に耳を傾けること

で、社会をともにつくりたいと企画されました。私たちが思っている以上に、すでに自分の生きる道や、行動指針、生まれてきた意味などを、大人から教わらなくても理解している子がいます。それはある意味、天性の才能とも言え、彼らの才能を認めて伸ばし、可能性を最大限に広げられるようサポートするのは大人の責任です。子どもたちの思いや考え、価値観、やりたいこと、夢、希望、創りたい未来の社会などを、子どもたちがメインスピーカーとして話してくださいました。その中には「FUTURE LEADERS DESIGN LAB」で来日してくださいましたビビアン・ハーさんも再びスピーカーとして登壇し、自

らの経験と今後をプレゼンテーションしてくださいました。またマルチな才能を発揮している芸人、キングコングの西野亮廣さんをファシリテーターに、子どもたちとの座談会も行われ、西野さんの楽しいトークが子どもたちのパワーを引き出しました。

直感と大きな夢と、こどもサミットを通して、「自分の夢を持つこと」そして「ドキドキ・ワクワク」の好奇心と、興味を持って生きていくエネルギーを、また新たにフラワーガーデンでいただくことができました。



西野さんと座談会を行う子どもたち、自分の思い描く未来をまっすぐに信じる力を持った子どもたちのエネルギーは、大人にも勇気を与えてくれます。

依存症経験者の渾身の踊りに大きな反響!! 沖縄メンバー・スタッフが 「ふくこいアジア祭り2017」に参加。

前回のニュースレターでもご紹介させていただきましたが、ワンネスグループ沖縄のクライアントとスタッフが、関西京都今村組とのご縁で発足させたダンスチーム「琉球天道組」が11月に福岡市で開催された「ふくこいアジア祭り2017」にチャレンジしました。関西京都今村組の今村克彦代表をはじめ、スタッフの皆さんに強力にサポートをしていただき、初めての大舞台で堂々と自分たちを表現してくださいました。会場では大変多くの方にご覧いただき、彼らのエネルギーに大きな反響が起こりました。ご覧いただいた皆さま、応援いただいた皆さま、ありがとうございました!

振り返ればちょうど1年前、沖縄施設の見学をきっかけに交流が始まった関西京都今村組。「子どもたちの生き直しの場所を創りたい」と活動を続けられる今村代表が、同じ生き直しのステージを提供するワンネスグループに深く共感していただき、ダンスを通してコラボレーションすることで、社会にメッセージを発信していく活動がスタートしました。

琉球天道組は「ふくこいアジア祭り2017」での決勝進出を目指して約2ヶ月、猛練習を続けました。100を超える参加チームの内、決勝のステージに立てるのはわずか12。それぞれのチームで熱いパフォーマンスがくり広げられる中、惜しくも決勝進出

はならずでしたが、テレビで琉球天道組の事前放映を見てお越しくくださった方もいらっしゃる、彼らの真剣な姿に観客から直接お褒めの言葉をいただくことができました。中には涙される方もいらっしゃるほどです。

結果発表後、今村代表は「良い意味で決勝進出できなくて良かったと思う。きっと決勝に出てしまうと、そこで終わってしまったはず。目標もなくなってしまふ、勝者になった気持ちになってしまふ。負けてしまったけど、会場では強い存在感を発揮して、良い意味でインパクトを与えられたと思うし、点数でも他のチームに引けを取らない事が証明されたので、これからも戦える。いつか君たちの踊りが評価されるその時まで踊り続けよう。今回の敗北は布石だ。これからもずっと活動を続けよう!」とメッセージを下さいました。

最後はメンバー全員で円陣を組み、涙を流してお互いにハグを交わり、2日間の福岡遠征を締めくくりました。

天道組自体はダンスという活動でしたが、依存症回復プログラムを前向きに受けられるようになるなど、クライアントの日常により変化が起こっています。また関西京都今村組からの指導を奈良と沖縄で月に1回・2日間のプログラムとして、今後も継続的に進行



2日間で5つのステージを踊り切った琉球天道組のメンバー、サポートスタッフと、会場には晴れ舞台を応援しようと、ご家族が来られていたクライアントもいました。

ことになりました。関西京都今村組と1年間関わったワンネスグループ沖縄スタッフの高尾は「今までの仕事の経験でも、日常の業務以外でプロジェクト的なもので関わったのは初めて。7月の今村組沖縄ライブを含めて自分が携われたことは、大きな財産です。私1人じゃなく、色々な人の助けがないとできなかったもので、私にとって天道組との繋がりがや関わりも財産になりました。」とコメントしました。この1月から奈良でも本格的にダンスプログラムがスタートしますが、担当スタッフの森田も沖縄には負けてられない、楽しみながらがんばりたいと意気込んでくれています。ワンネスグループ奈良と沖縄の今後の活躍に、どうぞご支援ご声援をよろしくお願いたします!

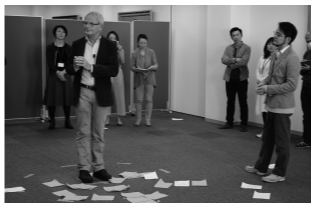


自身の感情表現が苦手というメンバーが少なくありません。踊りを本気で表現することで、観客に感動を届けられた経験は、感情表現の幅を広げる上で、非常に大きな作用があったのではないかと感じています。

今年もバージョンアップして、大好評のうちに修了! ソーシャルパノラマコンサルタント 認定コース第3期を開催しました。

20年以上の実績があるメンタルスペース心理学ソーシャルパノラマ。開発者であるルーカス・ダークス博士による「ソーシャルパノラマ コンサルタント認定コース&上級認定コース」は上級認定コースIIが、第3期を迎えた今年もさらに内容をバージョンアップさせて開催し、参加された皆さんが充実した学びの時間を過ごされました。第3期となる今回はすでに講師として「ソーシャルパノラマ」ワークショップを開催している講師陣や、教師、心理学の専門職の方々に参加してくださいました。

ソーシャルパノラマへの理解を深めたいと再受講いただいた方からは「ルーカス博士の実践スキルを、より深く学ぶことができました。すばらしかったです!」という感想も数多くいただきました。一方、初めてNLPや、メンタルスペース心理学を学んだ方も楽しく学ぶことができ、そして優しいと評判でした。次回の開催は2019年2月の予定です。ルーカス博士のもとで直々に学ばれた方が、日本、そして世界に、メンタルスペース心理学ソーシャルパノラマを広め、癒しの技術が浸透していくことを期待しています。



同じできことを体験しても、人によって受け取り方が違うのは、それぞれにできごとやとらえ方が違うから。ソーシャルパノラマは、とらえ方の元となっている信念や思い込みを改善し、その方が味わう体験により質の高いものにしていく技術。



ソーシャルパノラマの開発者であるルーカス・ダークス博士はユーモアがあって知的で穏やかな方。直接教えることはもちろん、先生のお人柄にファンも多く、回数を追うごとに温かな師弟関係が育まれています。

Information 1

‘当事者目線’のギャンブル依存症対策拠点を！ 2月、ワンネスグループ大阪オフィスを新設

ワンネスグループは、2011年春のセレニティパークジャパン(奈良)開設前より、ギャンブルやギャンブル性のある遊技への依存(以下、ギャンブル等依存)の問題を抱えたご本人、ご家族への支援を提供するとともに、根本的な問題解決につながる取り組みを行ってきました。

そして、本年2月、大阪市住之江区にギャンブル等依存症対策の新たな拠点、大阪オフィスを新設します。大阪オフィスは、「問題ギャンブル対策センター大阪」として、昨年11月にスタートした対策センター横浜(横浜市中区)とともに、地域における、そして日本国内における実効性のある依存症対策により一層寄与してまいります。

身近な「居場所」をめざして・・・ ＜大阪オフィスのできる＞

- ・ギャンブル依存症を中心とした相談窓口
- ・週末通所の依存症脱却プログラム「日曜コース」開催
- ・市民向けセミナー
- ・家族会(ワンネスファミリーグループ大阪)
- ・ギャンブル依存「おやじの会」(当事者の父親、当事者かつ父親の方)
- ・アディクションカウンセラー養成講座
- ・心の健康、生きづらさ解消を目的とした講演会やワークショップ開催
- ・行政との連携
- ・ギャンブル等依存症対策各機関との連携

私たちワンネスグループには、相談ならびに回復支援の現場で積み重ねてきた経験、支援スタッフが持つ依存症経験者としての立場、そしてNCPG(全米問題ギャンブル協議会)やIGCCB(国際問題ギャンブルカウンセラー認定委員会)などの海外団体との連携や、国内における諸団体との連携から得た知見があります。そんな私たちだからこそできることを、大阪と横浜の両拠点を中心にお届けしてまいります。

間もなくスタートする大阪オフィス。キックオフセミナーを3月4日(日)に開催いたします。(詳しくは8ページをご覧ください。)

ワンネスグループ大阪オフィス

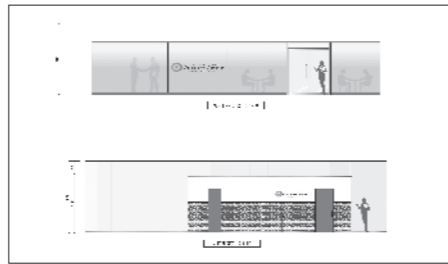
＜問題ギャンブル対策センター大阪＞
大阪市住之江区南港北2-1-10
ATC (アジア太平洋トレードセンター)
ITM棟3階J-10
TEL:06-6115-7395
FAX:06-6115-7396
(2/12より対応開始)

ワンネスグループ横浜オフィス

＜問題ギャンブル対策センター大阪＞
横浜市中区海岸通4-23マリンビル808
TEL:045-264-4365
開所時間:月～金 10:00～17:00
(来所相談は予約制)



ONENESS GROUP
問題ギャンブル対策センター大阪



現在内外装の工事中で、2月上旬に完成予定です。



大阪オフィス地図



横浜オフィスでは、すでに相談対応、家族会など開催しています。

Report 6

出会い、語りあい、希望を見つけるきっかけに。 北海道・東北で今年もセミナーを開催します！

ワンネスグループが開設している依存症相談ダイヤルやSOS相談メールへのアクセスは、年間約1800件。そのうち1割強が北海道、東北の各地から寄せられています。西日本を中心に活動を行う私たちですが、施設利用メンバーやスタッフのなかに、それら地域の出身者やかつて住んでいたという者が少なくありません。

東北地区では2014年から各地でセミナーを実施するキャラバンをスタート、そして昨年は3度に分けて北海道内7ヶ所を回る初の「北海道キャラバン」を開催しました。11月上旬は、旭川、札幌をオーバーヘイム容子副代表と「依存症と生きづらさ」をテーマに、またIR(カジノを含む統合型リゾート)の誘致に名乗りをあげている苫小牧では三宅共同代表がギャンブル依存についてのセミナーを行いました。

11月下旬は、三宅とグループ沖縄代表の位田のコンビで、青森、盛岡、仙台、郡山にて「いのちを大切にすること」をテーマに開催。どの会場も、依存症問題に関心をお持ちの市民の方や、福祉・医療専門職、自治体関係者など多くの皆さまにご参加いただきました。

春、夏に開催したキャラバン同様、各地域の依存症問題に関する社会資源を「無い」と決めつけてしまうのではなく、生きづらさ解消に関連する取り組みを充実させること、インターネットを利用することや他の自治体にある資源を利用するなど、地域の中だけで解決しようという考えに固執しないことなどについてもお伝えしました。

「経験者の話を聞く機会が少なかったので良かった」

「地域で取り組みそうなことを考えるアイデアを提供してもらえた」「今まで他人事として考えていたが、生きづらさと捉えると自分にもあることだと思った」など、様々な意見が寄せられた北海道、東北キャラバン。会場では相談も受け付け、オーバーヘイム、位田、三宅がそれぞれ時間の許す限りお話をさせていただき、その結果、施設入所につながるケースも見られました。

地域で既に行われている依存症対策、心の健康対策の一助になればとの思い、会場に足を運ばれる皆さまとの語り合いの場として、今年もキャラバンの開催を予定しています。

広い北海道、東北地域を回りながら、四季の移り変わりに感動し、参加される皆さまの思いに心を熱くしました。今年も多くのお会いがありますように！

依存症を知るセミナー 北海道キャラバン2018予定
春 4月中旬 札幌、函館、苫小牧、稚内 秋 10月上旬 根室、帯広、旭川、札幌
依存症を知るセミナー 東北キャラバン2018予定
夏 6月 弘前、秋田、仙台、郡山 冬 11月中旬 盛岡、山形、仙台、いわき



オーバーヘイム副代表が講演した北海道キャラバン(11/4旭川会場)



東北キャラバンでは地元出身の位田(グループ沖縄代表)が語りました(11/25仙台会場)

Report 5

「依存症を知る」ことで、社会が変わる。 名古屋市内の学校・企業で出張セミナーを開催

依存症の基礎的理解が必要なのは、現に問題を抱えて困っている当事者に限ったことではありません。そのメッセージを届けるため、ワンネスグループでは学校、企業、自治体において出張版「依存症を知るセミナー」を展開。東海地区においても昨年は様々な団体からお声がけいただきました。

JR名古屋駅前の「理学・作業名古屋専門学校」では、1年生 80名を対象に10月と11月の2回にわたり、依存症に関する一連の話題を提供。将来、福祉業界での活躍を目指す学生の皆さんにとって、知識を得るだけでなく、ゲームやネットなど身近な依存について考える機会にもなりました。

また、昨年末には、中村区に本社がある遊技関連企業大手「ダイコク電機株式会社」にて、社内セミナーを開催し、多くの従業員の皆さんにご参加いただきました。ダイコク電機は社会貢献のあり方を模索していくなか、ギャンブル等依存症の問題に正面から向き合う必要性を感じられたそうで、チームメンバーの社員が一昨年末、ワンネスグループの市民向けセミナーに参加されたことがきっかけとなり、その後、奈良施設の見学などを通し、今回の社内セミナー開催へと繋がっていきました。

当事者ではなくても、福祉を学び実践する者として、企業の社会貢献を考える者として、そして大切な誰かが、他ならぬ自身が依存に陥ったときのことを考えて…。依存症を知ることは、理解につながり、もしものときに相談しやすい社会や予防できる社会の変化にもつながります。

今回の出張セミナーを終え、三宅共同代表は「依存症に対する世間の関心が高まりつつある中、セミナー開催の要望をお寄せいただく企業や学校の関係者の皆さまは、教科書的な知識にとどまらない一歩も二歩も踏み込んだ依存症の実態を知りたいと思っていらっしゃる感じました。」と語りました。

セレニティパークジャパン名古屋代表の池田秀行は、「依存症を経験した者だからこそ発信できることがあります。今後も東海各県において地域の依存症問題解決に貢献します。」と意気込みを語っています。

皆さんの学校・企業・自治体でも
セミナーや講演会を開きませんか？
詳しくは8ページ上段をご覧ください！



＜学校講演＞
将来の学びだけではなく学生自身の依存予防にもつながります。



＜企業講演＞ 社会貢献のあり方についても共に考えます

Information 2

「女性が自分らしく、自由に生きる」世界を目指して！ Girl Power奈良 設立記念イベント、開催！

3月18日(日)
奈良県橿原市にて！

Girl Powerとは一般社団法人日本女子力推進事業団の略称で、夫婦・家族問題評論家の池内ひろ美さんが代表理事を務める団体です。2013年に設立され、発展途上国だけでなく、欧米や日本などの経済先進国においても「女性が自分らしく、自由に生きる」ことへの偏見や差別、社会的・文化的障壁がまだまだある中、その問題を解決するために、社会への働きかけや女性の意識改革を行う活動を行っています。

代表を務める池内さんには、2017年2月に開催した、フラワーガーデン2周年記念名古屋フォーラムでご登壇いただき、「私らしく生きる」をテーマにお話をいただきました。その後ワンネスグループに足を運んでくださるなど、依存症支援活動への理解を深めてくださっていた池内代表との関係性が深まるなか、各地に設立されているGirl Powerの支部を奈良にも設立できたらと申し出たところ、ぜひにこのお声をいただき、この度、設立記念イベントを開催させていただくことになりました。



2017年9月に開催されたGirl Powerのチャリティイベントでは、フラワーガーデンの活動を報告するとともに、Girl Power奈良の設立を報告させていただきました。さまざまな業界で活動している方が集結、チャリティ・オークションの司会を務めたお笑い芸人のノンス・マイル井上さんもチャリティで参加してくださいました。



Girl Power奈良と一緒に盛り上げてくれるのは、ワンネスグループをいつも応援してくださる弁護士菅原直美さん(左)、Girl Power代表の池内ひろ美さん(右)と一緒に。



おいしいサンドイッチで起業を目指す女性の手掛ける「ROMY」のかわいいフードも、皆さんのおしゃべりを弾ませられるはず。



東アフリカの児童養護施設ママイニ・チルドレンズ・ホーム(希望の家)でシングルマザーの自立支援の一環として作られている、かわいらしいフェルト小物ほか、物販を予定しています。

Girl Power奈良 設立記念イベント
3月18日(日) 11:00～15:00 会場: 橿原市役所新庁舎4階(橿原市内膳町1-1-60) 会費: 3000円(ランチ&ドリンク付き) 定員: 30名 問合せ: Girl Power奈良 girlpowernara@gmail.com

Report 7

農業を通じた依存症回復支援『ワネスの里』が"白苺"作りに挑戦中! 熊本・森川農園でのイチゴ収穫研修をレポート

三重県伊賀市にある『ワネスの里』では現在、非常にめずらしい白いイチゴの栽培に挑戦しています。「淡雪」で有名な熊本・森川農園様にご縁をいただき、昨年12月にはスタッフ研修として、約1週間、直接学ばせていただきました。イチゴづくりに情熱を燃やすスタッフの様子をレポートします。

研修1日目



「手でもぎるように優しく」と説明をいただき、イチゴの収穫が始まりました。あまり強く握ると潰れてしまうし、力を入れないとイチゴがとれないため、とても難しかったです。森川農園の方々はとても親切で丁寧に教えてくださり、1日目は思えないほどリラックスして研修できました。

研修2日目



収穫からパック詰め、イチゴの手入れを行いました。社長夫人に「上手になってますね」とお褒めいただき、ウキウキしていましたが、重要な作業のバック詰めでは注意されなければいけません。きれいにバック詰めしないとイチゴに傷が付いて商品価値がなくなるとのこと。バック詰めのコツを教わったものの、中々身につけられず、引き続き練習中です。

研修3日目



森川農園の方々とも仲良く、アットホームな雰囲気の中、心が温かくなりました。傷物や形の整っていないイチゴを味見をさせていただくことに。ぜいたくなくらい、イチゴを食べさせて頂きました。とても感謝しています。ワネスの里の畑もイチゴが成り出しているの、味比べするのが楽しみです。

研修4日目～最終日



森川農園で体験したアットホームな雰囲気作り、作業を分担すること。みんなが同じ方向性を持ち、毎プロジェクトを成功させる話ができ、とても「愛」を感じられる研修になりました。最終日は出発までに時間があったので、森川農園さんにお手伝いに行かせてもらいました。1週間の研修はあっという間に終わり、奈良に帰るのが寂しくなるくらい充実した時間を過ごさせていただきました。これから奈良で毎プロジェクト、がんばるぞー!

★熊本の研修に参加したスタッフの安里は、自ら声かけをして協力できるように、自身の意識にも変化が起こったそうです。ワネスの里農園では、「よっしゃがんばろう!」を合言葉に、メンバーのみんなが一致協力して、新しい挑戦をしています。

Report 8

子どもが“主語”の学校を実現するために。 「みんなの学校 課外授業inおきなわ」を開催!

2017年10月25日(水) in 沖縄

沖縄県は日本一の出生率と人口増加率を誇る反面、子どもの3人に1人が貧困状態にあり、環境の厳しさが社会問題になっています。ワネスグループは親の依存症も原因のひとつと考え、回復支援を通して社会問題にアプローチを続けてきました。地元の福祉や教育関係の方々との関係性を築きながら活動してきました。地元の福祉や教育関係の方々との関係性を築きながら活動してきました。この作品は、大阪市住吉区に実在し、保護者や地域を巻き込んで、子どもたちが本当に安心できる居場所としての学校を作り上げた「大空小学校」を描いたもの。「すべての子どもの学習権を保障する学校」を教職員、地域住民、保護者や学生ボランティアなど、多くの大人たちで見守れる体制を作り、誰もが通い続けられる学校を作りました。その初代校長として奔走された木村泰子さんをお招きし、ワークショップと上映会、講演と充実したラインナップの1日を課外授業としてプロデュースしました。当日は教育や福祉の関係者の方にも多く参加していただき、満席に、木村さんの教育への思いを受け取り、参加者の方々が本気で考える、積極的なイベントになりました。



上映会の後には「どっちが問題～問題視する大人と問題を起こす子供～」と題してディスカッションを行い、ワネスグループ沖縄代表の位田も思いを述べました。



木村さんの説得力のある言葉の数々に、参加者も真剣に現状と向き合い、行動のきっかけをつかもうとしていました。

Report 9

幸せを感じられる心を手に入れよう! 沖縄の高校生へメッセージを届け続けています。

2017年10月18日(水) in 沖縄

ワネスグループでは、依存症の予防・啓発活動、青少年健全育成支援の一環として高校や大学など、教育の現場で直接、生徒や学生にメッセージを届ける活動を続けています。お声がけいただける回数も増えてきており、10月にはワネスグループ沖縄代表の位田が、沖縄県立宜野湾高校で「幸せを手に入れるんじゃない! 幸せを感じられる心を手に入れよう!」と題して700名の生徒を前に講演を行いました。沖縄県では近年、覚せい剤が一般市民にまん延しつつあり、乱用者が増加傾向にあります。薬物やアルコール、喫煙などを使用する背景にある気持ちを頭ごなしに否定するのではなく、思いを伝えることの大切さを経験者として話すことで、生徒たちはリアリティを持って聞いてくれました。「幸せを感じられる心を持つ」という、薬物とは直接関係のないように感じるテーマでしたが、話が進むにつれ、一人では生きられない人間をつなぎ、救う「愛情」の大切さについて耳を傾けてくれました。後日、講演を聞いた生徒さんの感想をまとめた冊子が送られてきました。正直につづられた感想からは、メッセージが届いたことが感じられ、うれしく思いました。今後も活動は続けます。興味をお持ちの方はぜひお声がけください。



位田は講演会では毎回、生徒全員と勝っても負けてもあいこでも「よっしゃー!!」と叫ぶ「本気じゃんけん」を行い、会場に一体感を作り上げていきます。宜野湾高校でも大変もろがあり、みんな一生懸命叫んでくれたそうです。ありがとうございました!



どの生徒さんもたくさん思いをつづってくれた感想文集の表紙。生徒の中には、位田にSNSで直接メッセージを送ってくださった方もいたそう。

★ ★ ワネスグループ新スタッフ紹介

自分の経験を活かして、依存症回復のエキスパートとして活躍する道を選択したスタッフをご紹介します。最近では、グループ外部からスタッフになる方も増えています。



島辺岳志 (南城依存症ケアセンターディレクター)

昨年9月から沖縄の南城依存症ケアセンターでセンター長をさせていただいています。施設は昨年9月で3周年を迎え、入所者も開設当初からは倍の人数に増え、多くの皆様のご支援を頂き今を迎えられています。心から感謝申し上げます。私自身はギャンブル依存症者として、かつては家族や近親者を傷つけ、多額の借金を作り、多くの責任を反故にしてきました。情けないながらも、当時は責任から逃げるのが生き抜く術だと思っておりました。今は施設にて回復を目標に、プログラムに取組む仲間の支援をさせて頂きながら、過去に自分が逃げてきた責任を少しずつ取り、多くの仲間と支援を頂きながら、幸せを感じて生活させて頂いています。ワネスグループは「マイナス10からプラス10」を理念に、アクションからの回復はもちろんのこと、さらなる幸せへ向かう為のプログラムを多岐に渡って実施しています。解決策は必ずありますので一人で悩まず、まずはご相談下さい。皆様にとってプラスに変化する年になりますよう心よりお祈り申し上げます。



安里正明 (ワネスの里農園)

私はアルコール依存症で、約20年間お酒を摂取していました。いろいろな医療機関でアルコールを止める様に治療したのですが、思うような結果が出ずいました。ワネスグループの農業プログラムに繋がって、一番よかった事は、自分の感情や思っている事を言語化する事の大切さを学べた事です。私がワネスで得た気づきが少しでも、今、苦しんでいる仲間の力になればと思い、共に回復を目指していきたいと思えます。



古謝直己 (セレニティパークジャパン奈良)

ワネスグループに2年前に繋がって、昨年4月からアプレンティス(見習い)になりました。私はアルコール依存症の当事者で、ワネスグループの回復プログラムに取り組み以前は、自分の人生に先が見えず、孤独や寂しさの中で生きる希望も見失っていました。回復プログラムに繋がって、過去の自分の生き方、考え方にしっかりと向き合う事ができ、夢や希望を持てるようになりました。今、依存症で苦しんでいる少しでも多くの仲間に、こんなにも自分の人生が変わる、変えていけるということを伝えていきたいと思えます。



大橋洋 (セレニティパークジャパン奈良)

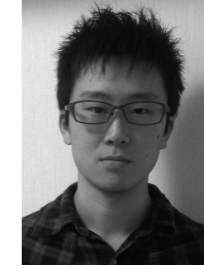
昨年夏より勤務を始め、現在はサービス管理責任者をさせて頂いております。私は、依存症を経験していないスタッフとして、他のスタッフの方々や利用者さんの生き詰まりや回復の経験から学ばせていただいています。私自身は北海道浦河町にある『浦河べつるの家』に6年ほどお世話になり、精神疾患から回復した経験を持っています。回復に至るまでに頂いた支援などの経験をシェアしたいと考えています。

皆さん、新しいスタッフを
よろしくお願ひいたします!



森田宏 (セレニティパークジャパン奈良)

2年半前に施設に入所して、現在は回復のプロセスとしてスタッフ研修をさせて頂いています。施設に初めて電話をかけたのは7年前です。自分でなんとかできると、もがき苦しみました。どうにもならず施設に入所しました。そんな僕が、今、クリーンで施設の事に携わっているのが不思議な感覚です。プログラムを受け、自分の生きづらさに気づいたり、心の傷を癒すことができました。薬物依存に陥り、自分を否定することはばかりになって、いろいろなことを諦め、投げ出してきましたが、今は仲間の力を借りて、さまざまなことに挑戦できるようになりました。仲間たちと一緒に喜びのある新しい生き方を目指していきたいです。



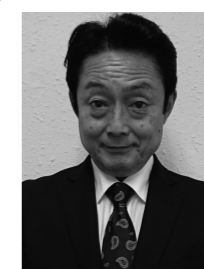
野崎優太 (セレニティパークジャパン沖縄)

私が回復に繋がって2年が過ぎ、現在はスタッフの見習いとして働かせていただいておりますが、このような人生を送れるとは思っていませんでした。以前は、自分が一切なく、誰かの価値観、誰かの気持ちで誰かの人生を歩まされている気分でした。そして常に誰かのせいにして、自分を憐れみ、周りを苦しめ、自分を苦しめました。今は自分の気持ちを大切に、どんな時でもどんな行動でも自分の人生と思っています。これからも仲間と共に自分の大好きな人生を歩んでいきたいです。



片桐淳 (東京・横浜オフィス)

みなさん初めまして。心理カウンセラーの片桐です。約15年ほど心理カウンセラーとして活動しており、心理カウンセラーの養成もしておりましたが、この度、縁あってワネスグループに勤務することになりました。当グループでもアクションカウンセラーの養成、クライアント向けの回復のための講座、カウンセリングを実施しています。既存の回復方法に加えて、科学的根拠に則った幅広い心理学分野の知識や方法で、回復に携わって参りたいと思えます。各施設を飛び回っておりますので、お気軽にお声がけください!



高橋正宏 (横浜オフィス)

昨年11月より開設された横浜オフィスでスタッフとして過ごしています。ワネスグループでは沖縄と奈良の施設で約2年半、新しい自分を求めて回復の道を行ってきました。その間、数多くの仲間と様々なプログラムを進めていく過程で、「自分には何が足りなかったのか?」、「これからどう生きていけばいいのか?」という課題に真剣に取り組む、現在に至っています。今、毎日回復に関わる環境に身を置いていることに感謝しつつ、依存症からの回復を望んでいる方々の役に少しでも立てよう頑張っていきたいと思っています。



森谷洋 (ワネスの里農園)

ワネスグループに繋がって約3年半が経ちます。当初は回復に対する意識が低く、本当の意味で回復したいと思っていない自分がいました。施設内で何度か失敗をくり返し、命の大切さを学ぶことができました。今は仲間の愛を感じながら自分は変われるし、回復できると信じられるようになりました。沖縄で回復の基盤を作り、今は農業を通じて自然と関わる事で回復を楽しんでいます。施設での経験を活かし、仲間と共に楽しみ成長し、仲間と共に回復できるスタッフになりたいです。